

# 2021年度 第1四半期決算 カンファレンスコール

2021年8月6日（金）

取締役CFO

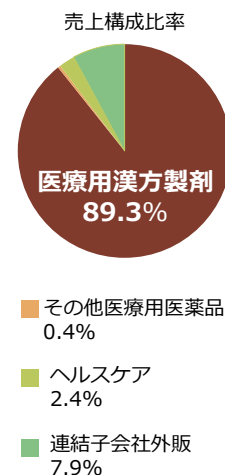
半田 宗樹

## 2021年度 第1四半期決算概要



(百万円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比		2021年度 上期計画
			金額	伸長率	
売上高	28,396	31,771	+3,375	+11.9%	59,400
国内	27,413	29,513	+2,100	+7.7%	55,500
海外	982	2,257	+1,274	+129.7%	3,900
営業利益 (営業利益率)	5,657 (19.9%)	6,152 (19.4%)	+494	+8.7%	8,700 (14.6%)
経常利益	5,674	7,247	+1,572	+27.7%	9,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,016	5,389	+1,372	+34.2%	6,900



※2020年度数値は、PPA調整・収益認識基準適用後の金額に組み替え

2

### ■ 2021年度 第1四半期決算概要

2ページは、2021年度 第1四半期決算の概要です。

ご覧の通り、増収増益の決算となりました。

売上高は、317億7千1百万円で、前年同期比 11.9%伸長しました。

営業利益は、61億5千2百万円で、前年同期比 8.7%伸長、

経常利益は、72億4千7百万円で、前年同期比 27.7%伸長、

四半期純利益は、53億8千9百万円で、前年同期比 34.2%伸長しました。

営業利益率は、前年同期比で0.5ポイント減少し、19.4%となりました。

国内・海外ともに売上高が伸長し、増収増益の決算（前年同期比）

<b>売上高</b>	<b>31,771 百万円</b>	前年同期比	<b>+11.9%</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内の売上高は、29,513百万円、海外の売上高は、2,257百万円</li> <li>■ 医療用漢方製剤129処方の売上高は、前年同期比 7.8%伸長</li> <li>■ 一般用漢方製剤などのヘルスケア売上高は、前年同期比 12.0%伸長</li> </ul>			
<b>営業利益</b>	<b>6,152 百万円</b>	前年同期比	<b>+8.7%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>19.4 %</b>	前年同期比	<b>△0.5pt</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上原価率は、中国外部販売の影響により、前年同期比+0.8ptで48.2%</li> <li>■ 販管費率は、前年同期比△0.2ptで32.5%</li> </ul>			
<b>経常利益</b>	<b>7,247 百万円</b>	前年同期比	<b>+27.7%</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 為替差益 836百万円の影響</li> </ul>			
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	<b>5,389 百万円</b>	前年同期比	<b>+34.2%</b>

■ 決算ポイント

3ページは、決算のポイントです。

売上高 317億7千1百万円のうち、国内の売上高は、295億1千3百万円、海外の売上高は、22億5千7百万円でした。

医療用漢方製剤129処方の売上高は、前年同期比 7.8%伸長しました。

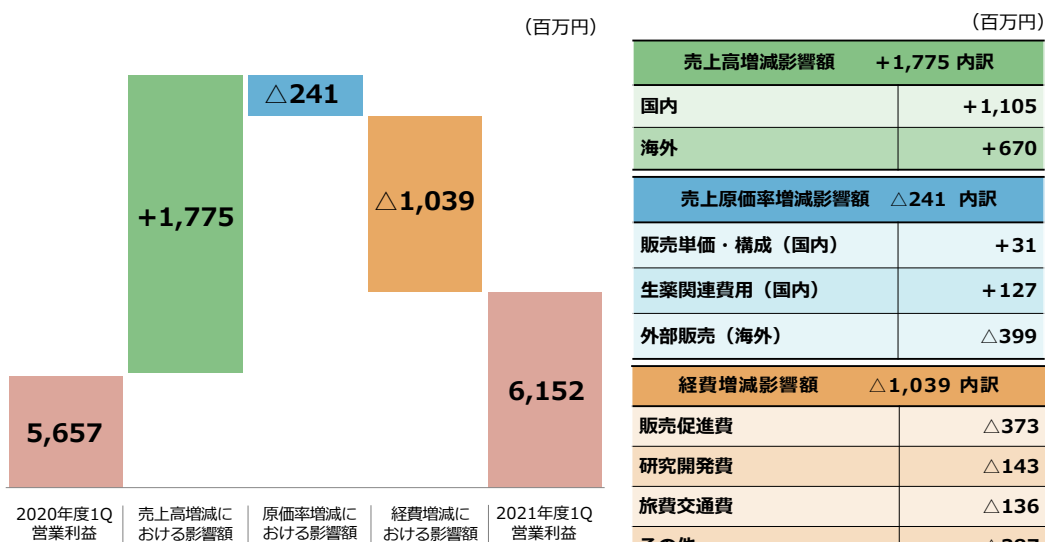
一般用漢方製剤などのヘルスケアの売上高は、店舗販売もネット販売も好調で、前年同期比 12%伸長しました。

売上原価率は、中国外部販売の影響により、前年同期比 0.8pt上昇し、48.2%となりました。

販管費率は、前年同期比 0.2pt減少し、32.5%となりました。

経常利益は、前年同期比 27.7%伸長しましたが、為替差益が主な要因です。

## 営業利益の増減要因（前年同期比）



4

### ■ 営業利益の増減要因（前年同期比）

4ページは、営業利益の増減要因です。ポイントのみご説明します。

営業利益は、前年同期比で4億9千4百万円増の61億5千2百万円となりました。

売上高増加による影響は、約17億円でした。国内・海外の内訳はご覧のとおりです。

売上原価率増加による影響は、マイナス約2億円でした。生薬関連費用は減少しましたが、海外・中国事業の外部販売が影響しました。

経費増加による影響は、マイナス約10億円でした。売上高増加に伴う販売促進費、研究開発費などの増加が影響しました。

なお、比較しております前年度の損益計算書は、PPA調整後の金額となっています。2020年度第1四半期の営業利益は、PPA調整により、7千5百万円減少となりました。

## 財務状態およびキャッシュ・フロー



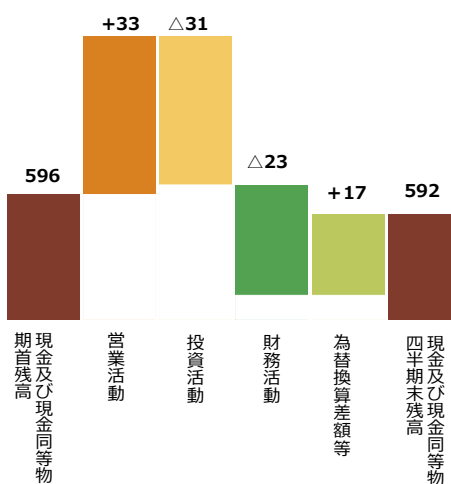
(百万円)

	2020年度 (2021.3)	2021年度 1Q	増減額
資産合計	319,063	<b>326,956</b>	7,892
流動資産	204,273	<b>211,038</b>	6,764
固定資産	114,789	<b>115,918</b>	1,128
負債合計	85,894	<b>87,017</b>	1,123
流動負債	48,380	<b>50,034</b>	1,653
固定負債	37,513	<b>36,983</b>	△530
純資産合計	233,169	<b>239,938</b>	6,769
自己資本比率	68.3%	<b>68.4%</b>	0.1pt

	2020年度 (2021.3)	2021年度 1Q	増減額
棚卸資産計	80,755	<b>84,471</b>	3,716
商品及び製品	13,939	<b>10,194</b>	△3,744
仕掛品	13,396	<b>14,336</b>	939
原材料及び貯蔵品	53,419	<b>59,940</b>	6,521

(億円)



5

### ■財務状態およびキャッシュ・フロー

5ページは、財務状態およびキャッシュ・フローです。こちらポイントのみご説明します。

流動資産は、前期末に比べて、約67億円増加し、そのうち棚卸資産は約37億円増加しました。

原材料及び貯蔵品が約65億円増加しましたが、これは主要生薬の調達の増加によるものです。

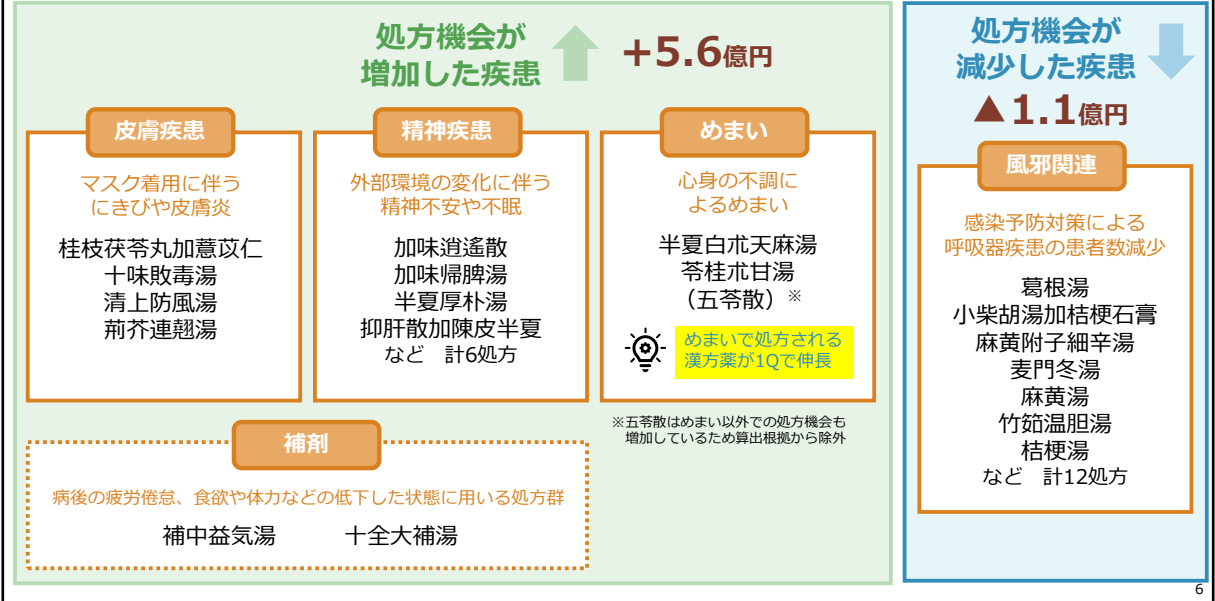
流動負債は、未払法人税等が減少した一方で、支払手形及び買掛金の増加などにより、前期末に比べて、約16億円の増加となりました。

固定負債は、前期末に比べて、約5億円減少しました。

自己資本比率は0.1ポイント上昇して、68.4%でした。

キャッシュ・フローは右側の滝グラフのとおりとなりました。

# COVID-19関連症状と処方機会



## ■ COVID-19関連症状と処方機会

6ページは、COVID-19関連症状と処方機会です。

これまで継続してお示してきたCOVID-19関連症状のうち、第1四半期において処方機会が増減した疾患がこちらです。

外部環境の変化やマスク着用により、精神疾患あるいは皮膚疾患への処方機会が継続して増加しました。

また、漢方医学の「補剤」といわれる、病後の疲労倦怠や体力などの低下した状態に用いる処方も継続して伸長しました。

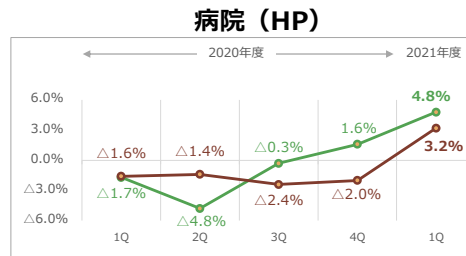
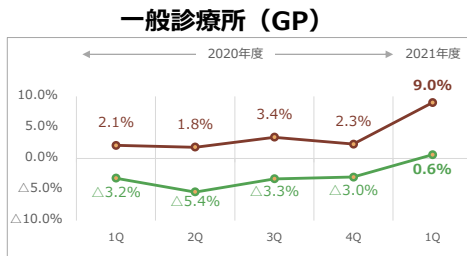
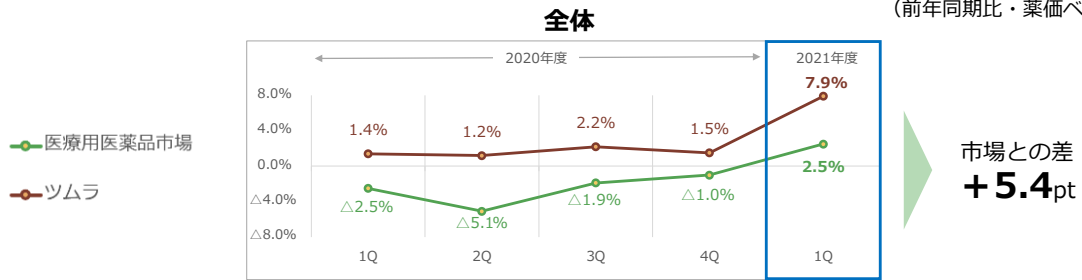
第1四半期からの特徴としては、心身の不調から引き起こされるめまいの処方が好調でした。処方機会が増加したことによるプラスの影響額は5.6億円と試算しています。

一方で感染予防対策の励行により、風邪関連処方が落ち込みました。処方機会が減少したことによるマイナスの影響額は1.1億円と試算しています。

# 医療用医薬品市場との比較



(前年同期比・薬価ベース)



Copyright © 2021 IQVIA. 「JPM 2019年4月～2021年6月」をもとに当社が独自に集計 無断転載禁止

## ■ 医療用医薬品市場との比較

7ページは、医療用医薬品市場との比較です。

薬価ベースでの前年同期比の伸長率は、市場全体で当社はプラス7.9%であり、市場との差はプラス5.4ポイントとなりました。

販路別で見ますと、一般診療所 (GP) においては、当社はプラス9%と、市場と比べて大きく伸長しました。

一方で、病院 (HP) においては、当社はプラス3.2%と回復基調にあるものの、市場と比べると下回る結果となっております。

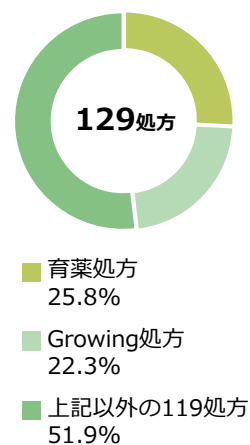
## 育薬処方・Growing処方 売上高



(百万円)

	売上 順位	製品No./処方名	2020年度1Q	2021年度1Q	前年同期比	
育薬 処方	1	100 大建中湯	2,385	2,430	+45	+1.9%
	2	54 抑肝散	1,779	1,872	+93	+5.2%
	4	43 六君子湯	1,665	1,770	+104	+6.3%
	8	107 牛車腎気丸	820	888	+68	+8.3%
	23	14 半夏瀉心湯	313	345	+32	+10.2%
育薬処方合計			6,965	7,308	+342	+4.9%
Growing 処方	3	41 補中益気湯	1,766	1,818	+52	+3.0%
	5	17 五苓散	1,032	1,297	+265	+25.8%
	6	24 加味逍遙散	1,042	1,205	+162	+15.6%
	7	68 芍薬甘草湯	1,131	1,201	+70	+6.2%
	10	29 麦門冬湯	812	806	△5	△0.7%
Growing処方合計			5,785	6,330	+545	+9.4%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			13,582	14,739	+1,156	+8.5%
医療用漢方製剤129処方合計			26,332	28,377	+2,044	+7.8%

売上高構成比率



※2020年度数値は、収益認識基準適用後の金額に組み替え

8

## ■ 育薬処方・Growing処方 売上高

8ページは、育薬処方・Growing処方の売上高です。

医療用漢方製剤129処方合計の売上高は、283億7千7百万円で、前年同期比 7.8% 伸ばしました。

育薬処方の売上高は、73億8百万円で、前年同期比 4.9%伸ばしました。

Growing処方の売上高は、63億3千万円で、麦門冬湯のマイナスをカバーし、前年同期比 9.4%伸ばしました。



- 高齢者関連領域、がん領域（支持療法）、女性関連領域を重点3領域と位置付け、集中的に活動する
- 育薬処方、Growing処方、重点3領域の関連処方による営業アプローチを展開する

高齢者関連領域			がん領域 (支持療法)	女性関連領域
精神・神経疾患	消化器疾患	呼吸器疾患	副作用の軽減など	婦人科疾患
<b>育</b> 抑肝散 + 関連処方	<b>育</b> 六君子湯 <b>育</b> 大建中湯 <b>G</b> 補中益気湯 + 関連処方	<b>G</b> 麦門冬湯 + 関連処方	<b>育</b> 六君子湯 <b>育</b> 半夏瀉心湯 <b>育</b> 牛車腎気丸 + 関連処方	<b>G</b> 加味逍遙散 + 関連処方
循環器疾患における 周辺症状	フレイルにともなう 諸症状			その他の疾患・症状など
<b>G</b> 五苓散 + 関連処方	<b>育</b> 牛車腎気丸 <b>G</b> 補中益気湯 + 関連処方			<b>育</b> 大建中湯 <b>G</b> 五苓散 + 関連処方

育薬処方   
 Growing処方

## ■ 営業活動の重点3領域

9ページは、営業活動の重点3領域です。

これまでと同様、「高齢者関連領域」「がん・支持療法」「女性関連領域」を重点3領域とし、育薬処方・Growing処方を中心に継続的に活動しています。

高齢者関連領域において、市場ニーズの大きい「循環器疾患における周辺症状」と「フレイルに伴う諸症状」を2020年度から重点施策として追加しております。

本年5月には、フレイルをテーマとしたWeb講演会や動画コンテンツの配信を集中的に行い、Web講演会には延べ18,000名の医師に視聴いただいております。

24時間いつでも漢方を学べる「ツムラ メディカルサイト」

医療関係者からのアクセスを拡大

Tsumura MEDICAL SITE



- 漢方薬の使い分けを解説
- 西洋医学的にも分かりやすく解説
- Web講演会へのアクセスも可能
- 豊富な動画コンテンツ

■ 自社ウェブサイト（医療関係者向けサイト）

10ページは、自社ウェブサイトです。

本年4月1日より医療関係者向けサイトを大幅にリニューアルしました。

医師が生涯にわたって漢方医学を学べる環境、動画により漢方が学習できる環境、Web講演会がライブ視聴できる環境など、医療関係者がいつでも漢方を学べる環境を整えております。

## 海外の売上高（中国外部販売）



(百万円)

	2020年度	2021年度
1Q	982	2,257
通期	6,360	8,800 (予想)

原料生薬



飲片



鮮人参



薬食同源製品



11

### ■ 海外の売上高（中国外部販売）

11ページは、海外の売上高です。

第1四半期の売上高は、22億5千7百万円となりました。  
原料生薬、飲片、鮮人参、薬食同源製品などを中心に中国での外部販売を拡大しております。

第1四半期は前年同期比で大幅な伸長となっておりますが、前年度の第1四半期（2020年1月～3月の期間）に、COVID-19感染拡大による外出制限など、中国国内での経済活動への影響を受けていたことが主な要因です。

2021年度の海外の売上高は88億円を予想しております。

## 2021年度 業績予想



(百万円)

	2020年度 実績	2021年度 予想	前期比	
			金額	率
売上高	116,413	122,500	+6,086	+5.2%
国内	110,053	113,700	+3,646	+3.3%
海外	6,360	8,800	+2,439	+38.4%
営業利益	19,382	19,500	+117	+0.6%
経常利益	20,866	20,000	△866	△4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,332	14,200	△1,132	△7.4%
	<b>2020年度 実績</b>	<b>2021年度 予想</b>		
配当金(1株あたり)	64円	64円		
EPS	200.4円	185.6円		
ROE	7.2%	6.4%		

※2020年度数値は、PPA調整・収益認識基準適用後の金額に組み替え

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、COVID-19の更なる感染拡大による社会経済活動への影響など、現時点で予測できないリスクによる影響は考慮しておりません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。状況に変化が発生した場合は適時・適切な開示を実施いたします。

12

### ■ 2021年度 業績予想

12ページは、2021年度の業績予想です。

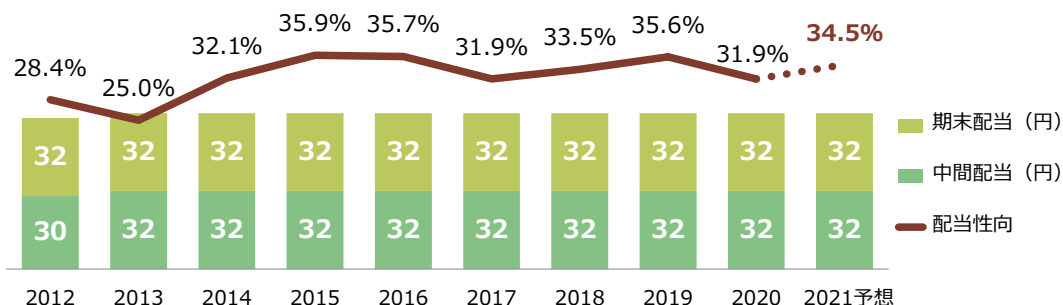
売上高は、約60億円増の1,225億円、営業利益195億円、経常利益200億円、親会社株主に帰属する当期純利益142億円、ROE6.4%となります。

2021年度が最終年度となる第3期中期経営計画の数値目標を達成できる水準の業績予想となります。

2020年度と同様にCOVID-19の影響など状況に変化が発生した場合は適時・適切な開示を実施します。

方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する



(注) 2021年度期末配当金・配当性向(予想)は、第86回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載

■ 株主還元

13ページは、株主還元です。

引き続き、“漢方”事業の持続的な拡大と中国事業への成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図ることを基本方針とさせていただき、中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施してまいります。

配当は、年間64円、配当性向は、先ほどの業績予想ベースで、34.5%を予想しています。

以上で説明を終わります。ご清聴誠にありがとうございました。

コーポレート・コミュニケーション室

I R推進グループ

investor\_madoguchi@mail.tsumura.co.jp

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利・為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。

# appendix

第3期中期経営計画（2019-2021年度）に収益認識基準を適用

	第3期中計経営計画 数値目標	第3期中計経営計 数値目標 収益認識基準適用	2021年度 業績予想
売上高	1,350億円以上	1,200億円以上	1,225億円
営業利益	190億円以上	190億円以上	195億円
ROE	6%以上	6%以上	6.4%



近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

## 育薬処方

大建中湯

抑肝散

六君子湯

牛車腎気丸

半夏瀉心湯

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データなど）により診療ガイドライン掲載を目指す処方

## Growing処方

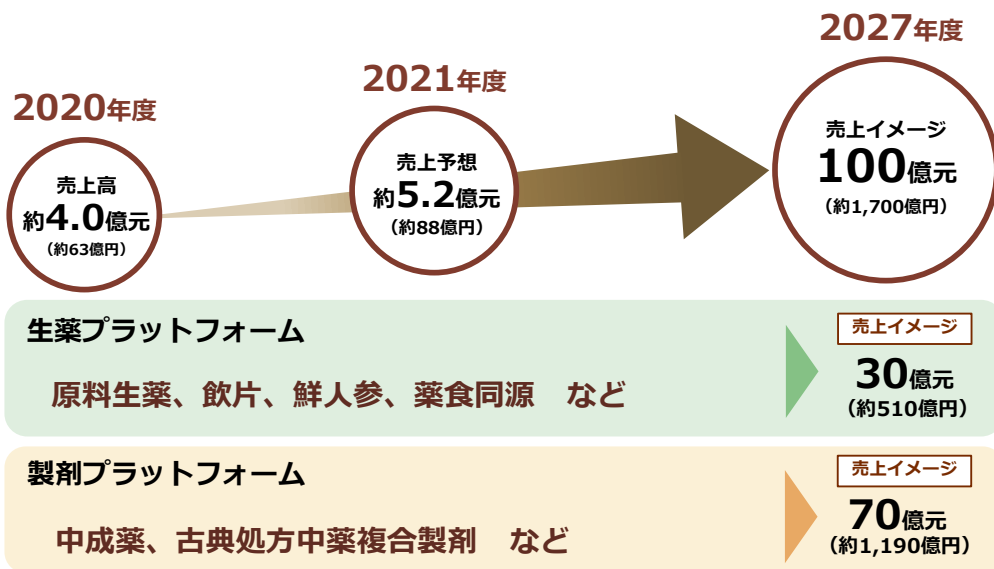
補中益気湯

芍薬甘草湯

麦門冬湯

加味逍遙散

五苓散



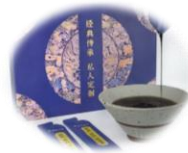
**飲片サービス**：飲片を流エキス、煎じ液、顆粒などに加工し提供するサービス  
（オンライン市場にて販売）

飲片



飲片サービス

流エキス



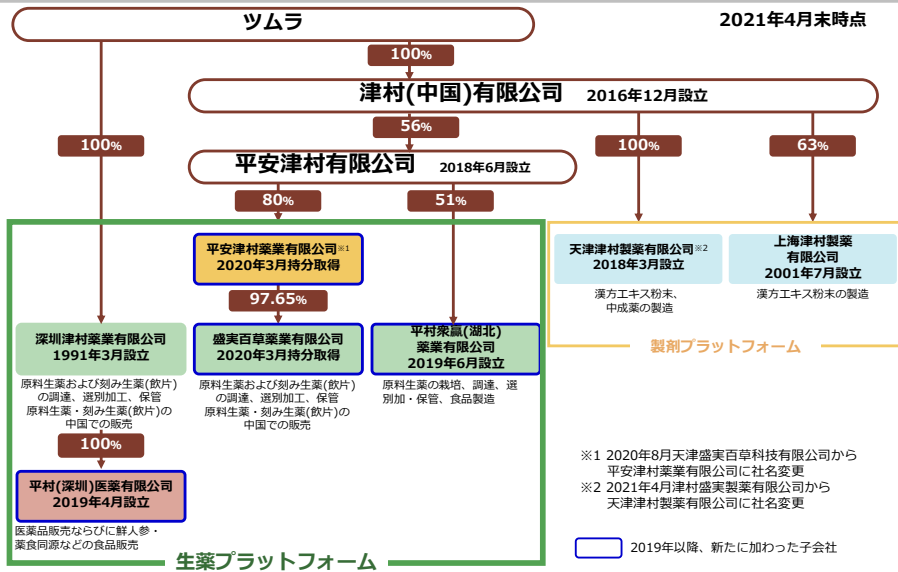
煎じ液



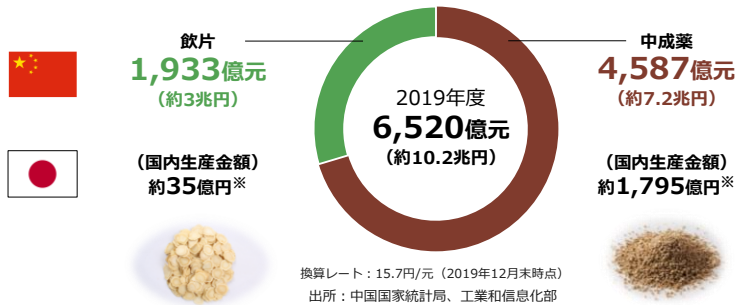
顆粒



# 企業グループ関係図と生薬プラットフォーム



# 中国における中薬市場規模



※出所：日本漢方生薬製剤協会「漢方製剤等の生産動向」

用語	意味	漢方医学において対応する語 (必ずしも「同義」ではない)
中薬	中医学で使用する薬剤（中成薬、飲片など）	漢方薬、刻み生薬、生薬
飲片	刻み生薬と同義。煎じて服用する	刻み生薬
中成薬 └ (古典処方中薬複合製剤)	中医学の理論に基づいた処方を、顆粒や丸剤等の形にした薬剤 (古くからある中国の医学書由来の処方を、顆粒や丸剤等の形にした薬剤)	漢方エキス製剤、生薬製剤 (漢方エキス製剤)